

県立淡路島公園ビジョン

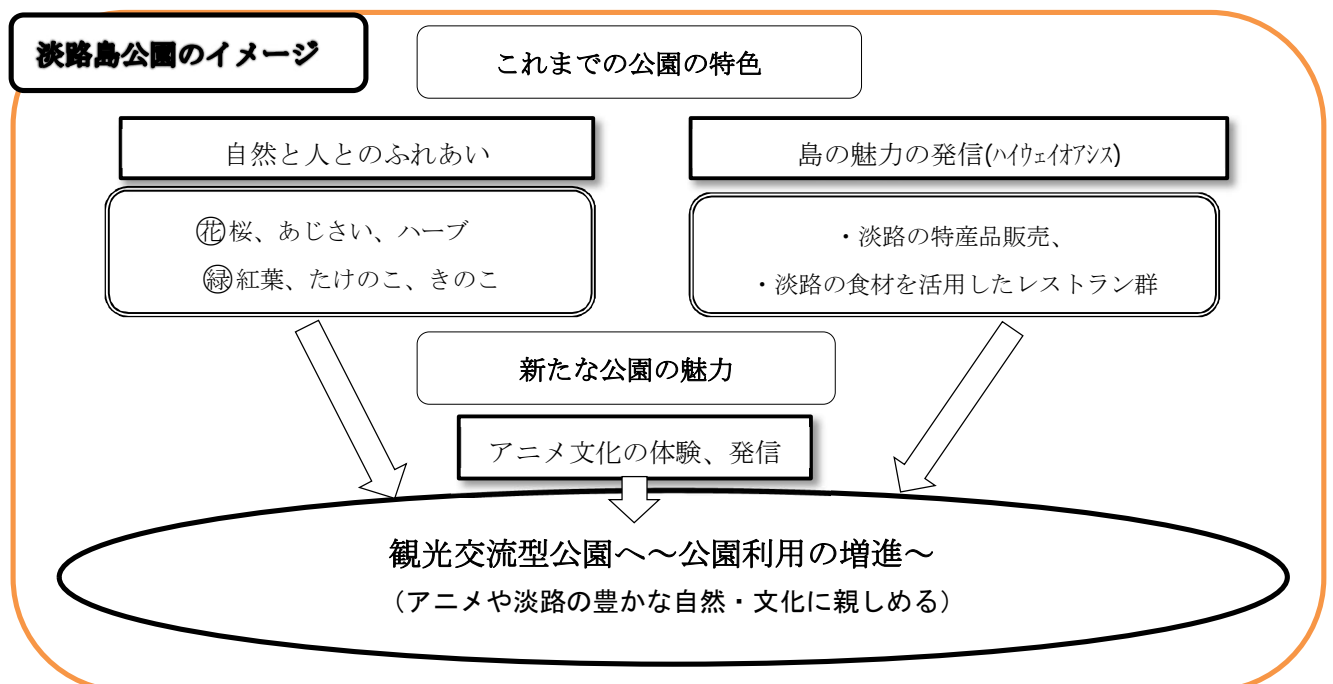
1 新しい公園コンセプト

県立都市公園が担うべき役割が多様化し、重要性が増すなか、時代の変化に対応するため、兵庫県では、平成28年6月「兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画」を策定し、地域の賑わいや子育て支援、安全安心への対応など、地域の様々なニーズに対応し、地域創生に資する公園づくりを進めている。

このうち、県立淡路島公園にあっては、都市部からのアクセス性の高さや当公園のこれ迄の特色である「自然と人とのふれあい」、「淡路島の魅力（淡路の食等）の発信」を活かしつつ、民間活力導入によるアニメをテーマにしたアクティビティ体験等を加え、全国の都市公園でも先進的な、自然環境に包まれた多くの人を訪れる観光交流型公園をめざす。

アニメをテーマに新たな公園利用者層を積極的に取り込むことにより、より多くの来園者に、淡路島の豊かな自然環境、食文化等の魅力も体験してもらう。

なお、事業者には、淡路アニメパーク構想のなかで、施設等設置の際は、公園の自然環境の向上に十分配慮することを要請するとともに、公園の豊かな自然を楽しめるような仕掛けやウェスティンホテル等周辺施設との連携方策を提案してもらう。



2 ゾーニング（資料：ゾーニング図）

現在、各ゾーン・エリアにおいて、管理運営計画にもとづき修景やイベントが行われているものの、来園者の利活用が少ない等課題が残るエリアもある。

淡路アニメパーク構想を進めるにあたり、「従来からの利用者の利用を優先するエリア（下表では従来利用者の優先エリアと記載）」と「淡路アニメパーク構想の利用エリア」をゾーニングし、淡路アニメパーク構想と自然環境との調和をめざすとともに、広域にわたる公園の一層の利活用を図ることをめざす。

ゾーン	エリア	現在の利用	課題	従来利用者の優先エリア	淡路アニメパーク構想の利用エリア
ハイウェイオアシス	オアシス	催事利用等		○	ハイウェイオアシスから公園内に来客を誘導するためのサイン等
	花の谷	ガーデン利用、散策	ハイウェイオアシスから公園内に来客を呼びこむための訴求力向上	○	
	オアシスの森	散策	利用者の増加	○	
森	アシサイの谷	自然観察等	利用者の増加	昼間 ○	○
	林間	散策		夜間 —	
	サクラ展望	散策・展望			
交流	昭和池	野鳥観察、散策	利用者の増加	—	○
	遊び場	遊具レクリエーション	利用者の増加 年中賑わうエリアの実現	(芝生リスト以外) ○	(芝生リスト箇所のみ) ○
	大きな芝生広場	イベント、散策等	野外レクリエーション利用、イベント利用の増加	○	(年数回イベント実施)
	ミニハーブ園	園芸等		○	
	野外ステージ／石の遊び場	遊具レクリエーション	利用者の増加	—	○
草原と花	ヤマ桜並木	散策、花見		(花見利用可)	○
	芝生広場／草原	イベント等	利用者の増加	—	○
	展望	展望		(展望デッキは利用可)	
	樹林	環境学習		○	

【事業者が留意する点】

(ア) 淡路アニメパーク構想の利用エリア

- ・ 施設を設置する場合、公園の自然環境や景観に大きな影響を与えないこととし、併せて、配慮した具体的内容を記載した計画書を提出すること
- ・ 施設や工作物等の撤去時においては、公園内を原状復旧の状態に戻すこと

(イ) 従来からの利用者の利用を優先するエリア

- ・ 原則として、淡路アニメパーク構想では利活用しないこと
- ・ 特に、大きな芝生広場では、現在も多くの人園者が利用しておりこれら一般利用者の利活用を阻害しない観点から、原則、施設設置を認めない。
年1～4回程度、有料イベントで使用することは認めるが、内容、開催時期等について、できる限り一般利用者の利用を妨げないようにすること

3 有料施設の料金設定の考え方

一般の公園利用者に対しても利用しやすい料金体系とする。とりわけ、宿泊施設については、県立公園内に設置されることを考慮し、近隣類似施設と比較し割高にならない料金設定とする。

淡路島公園ゾーニング

※ 売店・看板・工作物除く

- 「アニメパーク構想」の利用エリア
- 「アニメパーク構想」の利用エリア(夜の)
- 「アニメパーク構想」で利用可能性のあるエリア
- 現在の利用を維持するエリア

公園の自由空間として、様々な主体が利用するエリア

交流ゾーン

ドラゴンクエストアトラクション

ハイウェイオアシスゾーン

ビオトープとして維持していくエリア

忍者アトラクション

昭和池展望広場

バルーン

多目的ホール

レストラン

ゴジラアトラクション

草原と花のゾーン

県民の森

草原と花の広場

アスレチック

ジップライン

林間広場

星空バー(夜のみ)

宿泊施設

森のゾーン

あじさい祭り会場

自然観察利用を重視する

展望広場

プロジェクションマッピング(夜のみ)

県民が主体となって景観づくりに取り組むエリア

